



## 平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年3月3日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東  
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494  
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年7月期第2四半期の連結業績（平成27年8月1日～平成28年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	1,383	10.3	432	44.5	441	33.1	293	56.5
27年7月期第2四半期	1,254	△4.9	299	△3.0	332	0.9	187	△36.9

(注) 包括利益 28年7月期第2四半期 217百万円 (19.6%) 27年7月期第2四半期 182百万円 (△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	36.31	36.31
27年7月期第2四半期	23.25	23.25

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年7月期第2四半期	4,830	4,395	91.0	544.6
27年7月期	4,856	4,258	87.7	527.6

(参考) 自己資本 28年7月期第2四半期 4,395百万円 27年7月期 4,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	-	0.00	-	10.00	10.00
28年7月期	-	0.00	-	-	-
28年7月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

27年7月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 上場市場変更記念配当 5円00銭

### 3. 平成28年7月期の連結業績予想（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	1.2	655	△17.4	665	△24.9	385	△29.1	47.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 連結業績予想の修正につきましては、添付書類の「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年7月期2Q	9,562,000株	27年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	28年7月期2Q	1,491,000株	27年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年7月期2Q	8,071,000株	27年7月期2Q	8,052,236株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
2. 業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については第2四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、LTEのサービスが世界各地で開始され、スマートフォン等の多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が本格化しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスも始まり、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、世界に先駆け5Gサービスの実現に向けての研究も行われております。一方で通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、低価格端末ベンダー及びMVNOの新規参入、国内端末メーカーの事業撤退等もあり、今後も通信事業者及び通信機器メーカーの競合状況は一層の激化が予想されます。

また、固定通信分野におきましては光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。スマートフォン等の普及によるユーザートラフィックの増加により、ネットワークの負荷低減に向けた投資も行われており、通信インフラの更なる高速化・大容量化が求められております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い積極的な研究開発投資が見込まれる一方で、サービスの低価格傾向は定着しており、通信各社の研究開発及び設備投資は選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTE-Advancedに対応する製品の開発及び販売
- (ii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iii) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (iv) WiMAXに対応した製品開発及び販売
- (v) 第3世代移動体通信対応製品の販売
- (vi) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vii) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 1,310,968千円(前年同期比9.7%増)

当セグメントの売上高は、1,310,968千円となりました。LTE-Advancedの研究開発用途向けテストソリューションの国内向け販売が、前年同期比で増加した結果によるものです。

(IPネットワークソリューション) 72,581千円(前年同期比22.1%増)

当セグメントの売上高は、72,581千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売、イーサネットサービス向けのフィールドテスト用途の「サービステスタ」及びコアネットワークテストの販売を行った結果、前年同期比で増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高1,383,550千円(前年同期比10.3%増)、営業利益432,135千円(前年同期比44.5%増)、経常利益441,780千円(前年同期比33.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益293,033千円(前年同期比56.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,807,378千円であり、前連結会計年度末に比べ118,956千円増加いたしました。主な内訳は、売掛金が125,157千円、商品及び製品が40,107千円増加したものの、現金及び預金が42,769千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,023,491千円であり、前連結会計年度末に比べ144,464千円減少いたしました。工具、器具及び備品が10,254千円、投資有価証券が167,399千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は423,626千円であり、前連結会計年度末に比べ162,426千円減少いたしました。買掛金が55,045千円、未払法人税等が94,179千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,395,486千円であり、前連結会計年度末に比べ136,936千円増加いたしました。利益剰余金が212,323千円増加したものの、その他の包括利益累計額が75,116千円減少したことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による支出31,627千円、投資活動による収入80,205千円、財務活動による支出79,224千円により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は2,404,671千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益442,051千円に対し、減価償却費50,286千円があったものの、売上債権の増加額125,157千円、たな卸資産の増加額68,907千円、仕入債務の減少額55,045千円、法人税等の支払額256,433千円等があった結果、営業活動によって減少した資金は31,627千円（前年同期は813,239千円の収入）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出12,242千円があったものの、投資有価証券の償還による収入95,800千円があった結果、投資活動によって増加した資金は80,205千円（前年同期は316,558千円の支出）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額78,737千円があった結果、財務活動によって減少した資金は79,224千円（前年同期は39,784千円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成27年9月3日に公表いたしました平成28年7月期（平成27年8月1日～平成28年7月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成28年7月期の連結業績予想の修正（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	2,850	600	620	350	円 銭 43.37
今回修正予想（B）	2,850	655	665	385	47.70
増減額（B－A）	－	55	45	35	－
増減率（%）	－	9.2	7.3	10.0	－
（ご参考）前期実績 （平成27年7月期）	2,814	792	886	542	67.32

## （修正の理由）

当第2四半期連結累計期間において、国内向けモバイルネットワークソリューションにおける売上が好調に推移したことにより、通期のモバイルネットワークソリューションの売上予想を増額いたしました。IPネットワークソリューションの売上につきましては当初の想定を下回る見通しとなり、全体の売上高につきましては当初の予想に変更はございません。しかしながら、売上セグメントの変更により売上総利益率が当初想定よりも上回る見込みとなった結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について増額修正いたします。

（注）上記に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により本業績予想数値とは異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,396,116	2,353,347
売掛金	990,555	1,115,712
有価証券	43,993	51,324
商品及び製品	139,106	179,213
仕掛品	8,338	11,336
原材料及び貯蔵品	45,729	46,847
その他	64,581	49,597
流動資産合計	3,688,422	3,807,378
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,201	5,703
車両運搬具(純額)	1,200	954
工具、器具及び備品(純額)	132,934	122,680
有形固定資産合計	140,336	129,337
無形固定資産		
	16,148	15,565
投資その他の資産		
投資有価証券	908,348	740,948
その他	103,122	137,639
投資その他の資産合計	1,011,471	878,588
固定資産合計	1,167,955	1,023,491
資産合計	4,856,378	4,830,870
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	177,213	122,168
未払法人税等	263,795	169,616
賞与引当金	26,888	27,001
その他	118,155	104,840
流動負債合計	586,053	423,626
固定負債		
資産除去債務	11,693	11,757
その他	81	—
固定負債合計	11,774	11,757
負債合計	597,828	435,384
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	2,022,001	2,234,325
自己株式	△505,530	△505,530
株主資本合計	4,379,566	4,591,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140,597	△211,826
為替換算調整勘定	19,310	15,422
その他の包括利益累計額合計	△121,286	△196,403
新株予約権	270	—
純資産合計	4,258,549	4,395,486
負債純資産合計	4,856,378	4,830,870

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
売上高	1,254,888	1,383,550
売上原価	405,663	290,001
売上総利益	849,225	1,093,549
販売費及び一般管理費	550,082	661,413
営業利益	299,143	432,135
営業外収益		
受取利息及び配当金	38,227	13,165
その他	111	—
営業外収益合計	38,338	13,165
営業外費用		
支払利息	254	159
為替差損	3,346	3,278
投資有価証券売却損	1,723	—
消費税差額	142	15
その他	—	67
営業外費用合計	5,465	3,520
経常利益	332,015	441,780
特別利益		
新株予約権戻入益	—	270
特別利益合計	—	270
税金等調整前四半期純利益	332,015	442,051
法人税、住民税及び事業税	40,000	160,000
法人税等調整額	104,767	△10,982
法人税等合計	144,767	149,017
四半期純利益	187,248	293,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,248	293,033



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	187,248	293,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,173	△71,228
為替換算調整勘定	7,112	△3,888
その他の包括利益合計	△5,061	△75,116
四半期包括利益	182,187	217,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,187	217,916
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	332,015	442,051
減価償却費	34,740	50,286
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,811	113
受取利息及び受取配当金	△38,227	△13,165
投資有価証券売却損益(△は益)	1,723	—
支払利息	254	159
売上債権の増減額(△は増加)	391,445	△125,157
たな卸資産の増減額(△は増加)	147,687	△68,907
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,291	△55,045
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,687	△824
その他	47,776	△13,984
小計	820,247	215,526
利息及び配当金の受取額	34,963	9,438
利息の支払額	△254	△159
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△41,716	△256,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	813,239	△31,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	199,899	—
有形固定資産の取得による支出	△5,617	△12,242
無形固定資産の取得による支出	—	△2,866
投資有価証券の取得による支出	△789,740	—
投資有価証券の売却による収入	46,820	—
投資有価証券の償還による収入	233,106	95,800
その他	△1,027	△485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316,558	80,205
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△479	△487
自己株式の処分による収入	28	—
配当金の支払額	△39,333	△78,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,784	△79,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△993	△4,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	455,903	△35,438
現金及び現金同等物の期首残高	1,686,905	2,440,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,142,808	2,404,671

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,195,452	59,436	1,254,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,195,452	59,436	1,254,888
セグメント利益又は損失（△）	398,353	△99,210	299,143

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,310,968	72,581	1,383,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,310,968	72,581	1,383,550
セグメント利益又は損失（△）	612,783	△180,648	432,135

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。